

イシヅチゴケ科

# イシヅチゴケ

*Oedipodium griffithianum* (Dicks.) Schwägr.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

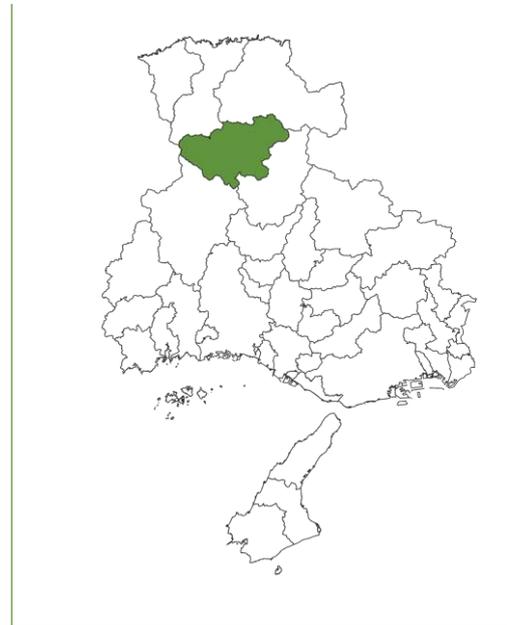
養父市

## ■ 国内分布

北海道、本州、四国

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

2005年に生育を確認したが、2018年調査では生育を見いだせず現状不明。2020年版での新規掲載種。



写真提供:秋山弘之

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

茎は短くて直立し、葉はさじ形で円頭、長さ約3mm、数枚の葉が短い茎に相接してつく。雌雄同株。孢子体は直立し、長さ約10mm、胞子のうは卵形で、柄に向かってしだいに細くなる。朔歯は分化しない。葉のわきに円盤状の無性芽をつける。従来はオオツボゴケ科に分類されていたが、独立のイシヅチゴケ目イシヅチゴケ科とされ、1目1科1属1種の非常に変わった蘚類。高山の岩の隙間や陰の薄い土壌の上に生育する。